

平成30年9月25日（火）、北海道釧路湖陵高等学校を会場に道東ブロック（オホーツク、十勝、釧路、根室）理科の授業実践講座を開催しました。管内を中心に道東ブロックの各管内から参加者19名、講師（スペシャリスト）4名、合わせて23名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、先生方の授業改善の参考として御活用いただければと存じます。

授業実践講座の概要

テーマ 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくり

会場校である北海道釧路湖陵高等学校の西堀隆亮校長先生のご挨拶から実践講座は始まり、十勝教育局の理科担当指導主事から新学習指導要領（理科）の説明、研究授業、研究協議、実践報告、ワークショップを行いました。限られた時間の中、充実した内容の講座となりました。本講座の概要についてご紹介いたします。



西堀隆亮校長先生

本講座の概要

研究授業

「3年普通科 SS物理探究」

若原 正人 先生（釧路湖陵高等学校）

研究協議

- ・ 研究授業について（探究について等）
- ・ SSH（釧路湖陵）の取組について

実践報告1

「北見北斗高等学校のSSHの取組」

安東 周作 先生（北見北斗高等学校）

実践報告2

「国研教育課程研究指定（理科）の取組」

堀口 人士 先生（帯広三条高等学校）

ワークショップ1

「普通教室で行う定量実験 物理基礎」

高田 真也 先生（北見緑陵高等学校）

ワークショップ2

「エステル化反応」「高大連携出前授業」

後藤 利光 先生（北見柏陽高等学校）

本講座の実施により期待される成果

課題解決に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）、実践的な「教科指導力」の向上、探究の過程による授業づくりの充実、各学校における授業改善の視点の拡大、北海道高等学校学力向上実践事業における研究の充実

授業実践講座の実施状況

研究授業



波の性質である回折と干渉についてレーザー光を用いた実験を通して理解を深める授業でした。実験によって回折や干渉の実験の技能や知識を身に付けた生徒に対して、「髪の毛の太さを測定するにはどうすればよいか」との課題に対し、実験方法、実験計画をグループで考える探究活動を行う授業でした。

研究協議

SS物理探究の授業を題材に、研究協議を行った後、釧路湖陵高校のSSHの取組について、渡邊理実先生よりご説明がありました。



実践報告 1

SSH指定2年目の北見北斗高校の取組の詳細なご説明がありました。



実践報告 2

教育課程研究指定校事業（理科）の帯広三条高校の取組が紹介されました。



ワークショップ 1

プラスチックバネの伸びとバネによって飛ばされる割り箸の距離の定量的な実験の紹介。

ワークショップ 2

エステル化反応の生徒実験の実際と、大学の出前授業についての紹介。



授業実践講座参加者の声

参加者の声

- 資料を活用し、授業に取り入れます。
- 指定校の実践発表から、自身の取組を振り返る良い機会となりました。
- 具体的な実践例が多く、自校で活用できるヒントとなりました。
- 自身で実験計画を立てるという視点がよかった。理科の「知りたい」「どうして」という探究心を実感できました。
- SSH校の取組が参考になった。高等学校でできることを実践する視点が印象的でした。
- 実験方法、目標設定、グループワークの活用など自校で実践したいと思います。
- SSHの取組など参考になりました。

〈参加者アンケートの結果（一部）〉

- 紹介した教材や指導方法は活用できますか
 - ・大いに活用できる 27.3%
 - ・活用できる 72.7%
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現や、教材、指導方法の理解は深まりましたか
 - ・大いに深まった 27.3%
 - ・深まった 68.2%
- 授業実践力の向上に役立ちましたか
 - ・大いに役立つ 50.0%
 - ・役立つ 50.0%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<釧路教育局ウェブページURL>

http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/krk/koukouhan_tusin.htm